REC NEWS LETTER

Vol.22

発行日：2008年7月25日

Ryukoku Extension Center



REC 滋賀
（瀬田学舎　REC ホール）



REC 京都
（深草学舎　紫光館）



REC 東大阪
（クリエイション・コア東大阪）

HOT 内閣官房・内閣府「平成２０年度 地方の元気再生事業」に本学が提案したプロジェクトが採択されました！

内閣官房・内閣府において、日本各地の自治体や団体などによる地域活性化に関する自主的なプロジェクトを支援する「平成２０年度地方の元気再生事業」について、龍谷エクステンションセンター（REC）が提案したプロジェクトが採択されました。全国で１１８６件の応募があり、うち１２０件が採択されました。

本学から提案したプロジェクトは**「子育てママが生き生き働くまちづくりプロジェクト～大津市におけるワーク・ライフ・バランスの促進～」**として、滋賀県大津市に所在する本学が有するシーズ・ノウハウ等を活用して、大津市に在住する子育て期にある女性に対する支援を行い、地域の活性化に貢献することをめざします。

具体的には、今年度から実施した「子育て応援プログラム」との連携をはじめ、生涯学習事業運営に関するノウハウ等を活用し、子育てをしながら積極的に社会参画していくためのスキルアップ講座や啓発イベント等のプログラムを開発・実施します。　更には、産官学連携に関するノウハウ等を活用し、子育て期にある女性を地域における労働力として顕在化し、地元産業界への就労も視野に入れたプログラム及び支援策を開発することをめざします。雇用ニーズの把握やプログラム等の開発にあたっては、これまでに大学が構築してきた地域の中小企業を中心とするネットワークを活用します。

地域の課題に対して、龍谷大学が有する資源を有機的に融合させることにより、子育て期にある女性が元気に地域に関わり、生き生きと働くことができるよう、全国に先駆けたモデルを構築し、大津市の元気再生に貢献することを目的としています。

【採択結果について（首相官邸ホームページ）】

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/index.html

【取組の概要（首相官邸ホームページ）】

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/siryou/pdf/kinki.pdf

HOT 平成２０年度 京都市「大学地域連携モデル創造支援事業」に認定されました！

京都市が実施している「大学地域連携モデル創造支援事業」に本学が申請した事業が認定され、７月９日（水）、京都市役所で認定式が行われました。今年度は１７件の応募があり、選考の結果１０件が選ばれ、そのうち本学が認定された事業は、短期大学部・窪田和美教授が代表の龍谷大学・伏見砂川・公園探検チームが申請した「伏見砂川・憩いの公園プロジェクト～公園をめぐる情報マップづくり～」です。認定式での公表では、今回の認定のポイントとして「学生の主体的な参画と学生自身の成長」を重視している説明があり、今回、本学申請で認定されましたプロジェクトにおいても、公園という空間を通じて、学生が地域活動に参画することで、多世代の方とのコミュニケーションを通じて地域活動の実践を学ぶとともに、地域への提案を行っていくことによる学生自身の資質向上を１つの柱としており、認定のポイントとなりました。なお、本学にとっては平成１６年度「チーム・たまり場・地域元気」事業の認定にはじまり、平成１９年度「伏見・風とお日さまエネルギー・プロジェクト～地域企業との連携による環境教育～」事業に続いて５年連続の認定となります。



▲大学地域連携モデル創造支援事業
認定式の様子

HOT　地域イノベーション創出総合支援事業「シーズ発掘試験」に、本学から１０件の研究テーマが採択されました！

今回採択された「シーズ発掘試験」制度は、独立行政法人　科学技術振興機構（ＪＳＴ）が、全国の大学（研究機関）が有する新規性、独創性に優れる研究シーズに対して、その実用化を期待して研究支援をおこなうものです。全国から６９６６件の応募のうち、１３８７件が採択される厳しい競争率の中で、本学からは関西の私立大学では２番目に多い、１０件が採択されました。

研　究　課　題　名	代表研究者
金属酸化物中空球状粒子による三次元規則構造体の作成とその光学的応用	理工学部　青井　芳史准教授
車椅子の段差乗り越え機構の研究	理工学部　岩本　太郎教授
伝統工芸としての彫金加工を再現する NC 加工技術の研究	理工学部　河嶋　壽一教授
薄膜フォトダイオードと薄膜トランジスタによる人工網膜	理工学部　木村　睦　教授
気相と液相が混在する混相流の可視化計測技術の開発	理工学部　塩見　洋一教授
モーションデータベースを用いたオン・デマンド型動作生成・制御システム	理工学部　曽我　麻佐子助教
マイクロ波自由空間法による水分計測システムの開発	理工学部　張　陽軍講師
異種マルチ染色体を持つ遺伝的アルゴリズムによる印刷原版レイアウトの最適化	理工学部　藤本　好司教授
ファジーマッチングに基づく多言語音声の同時認識方法の開発	理工学部　南條　浩輝助教
白物家電向け組込みサーバの開発と応用	情報通信ｼｽﾃﾑ研究ｾﾝﾀｰ 野中 誉子氏

※申請においては研究を実施する「研究者」と、実用化を支援する「コーディネータ（ＲＥＣ）」が連名で応募し、本学から採択された案件は１０件とも、２００万円の試験研究費を提供されました（研究期間は 2009 年 3 月末まで）。

ご案内　２００８年度後期 REC コミュニティカレッジのご案内

ＲＥＣコミュニティカレッジでは、２００８年度後期講座として、１２コース全１８８講座の開講を予定しています。

特集講座「地域再発見コース」では、来年誕生１３０周年をむかえる京都市下京区にスポットをあて、「京・下京区を探る」と題し、下京区にまつわる文化・歴史・文学・伝統産業の講座を開講します。

特に伝統産業では、門前町散策や実際に念珠作り体験を行うなど、学び＋体験型の講座となっています。

また、女性向け講座の充実を図るＲＥＣ滋賀では、特別講座として女性の就労支援に実績にあるオムロンパーソネル株式会社と共同で企画した「Re-Career～女性のための再就職支援講座」を開講します。この講座では、社会に出るまでに知っておきたい知識や身につけておきたいスキルを系統的に学んでいけるように構成されており、女性の再就職支援としての新たな試みとなります。

なお、ＲＥＣコミュニティカレッジ開講情報は、ホームページでも公開しています。２００８年度後期分については、８月上旬頃掲載予定となっています。



▲2008年度後期パンフレット

＜２００８年度後期ＲＥＣコミュニティカレッジ申込受付＞

会員：８月２５日（月）から

一般：８月２８日（木）から

ＲＥＣコミュニティカレッジ・ホームページは、こちらから→http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/rec_koza/top/

８月のＲＥＣ活動

8 月　7 日 (木)　REC コミュニティカレッジ後期パンフレット発行 (予定)
県版特区人材育成事業「夏休み子ども理科工作・実験講座」
8 月　8 日 (金)　県版特区人材育成事業 「夏休み子ども理科工作・実験講座」
8 月 25 日 (月)　REC コミュニティカレッジ後期会員受付開始
8 月 28 日 (木)　REC コミュニティカレッジ後期一般受付開始

REC NEWS LETTER　Vol.22

編集：ＲＥＣ事務部

http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/

● ＲＥＣ滋賀　　ＲＥＣホール（内線 7744）
● ＲＥＣ京都　　紫光館 5 階　（内線 6503）
● ＲＥＣ東大阪　クリエイション・コア東大阪
産学連携ｵﾌｨｽ 2212 号（06-6748-8228）